

No.003 東京滋賀交通㈱ 【輸送モード:バス】

「業界ベテランのトップが経験を注ぎ込み、エコドライブ運動も活かして現場の安全を確保する」

1. 概要

企業情報

所在地	東京都江戸川区松江 2 丁目 10 番 5 号			創立	1997 年
年商	2.3 億円	人員数	27 名	資本金	8,000 万円
拠点数	事務所と車庫を集約した 1 拠点	車両等	14 両	(大型 9 両、中型 3 両、小型 2 両)	
事業内容	一般貸切旅客自動車運送事業、旅行業他				
輸送品目	貸切旅客の運送業等				
取引先	旅行会社、一般旅客他				

組織的安全マネジメントの特長

エコドライブチェックリストによる確認やタコグラフを解析して、運転操作に問題があったドライバーに、該当箇所を拡大印刷などして指導している（よく話し、社内意識の共有化）
トップ自ら月に 2 回を目標にした添乗指導のほか、朝のお客様お迎え時に運転者の挨拶等をチェックし、運転者の品質、安全を高めている
5S 活動として社内清掃、車庫の清掃、ゴミ処理などのグループ制の活動を実施している

調査者所見

<p>滋賀交通グループでは最初にグリーン経営の認証を取得している。5S 活動を基本として清掃やゴミの処理など、環境問題への持続的取組、改善に努めている状況が、事務所、構内、車両ともにきちんと整備されている状況から読み取れた。</p> <p>安全に関してリスクの多い業務については基本的に受けない、普段の業務や生活行動などから事故を繰り返すドライバーを見極めて運行管理者に指示するなど、業界ベテランのトップがこれまでの経験を活かして、堅実な経営・営業方針を貫いている。</p> <p>グループの中では、近江商人の経営を実践すると共に、東京への拠点展開を果たすという先代の意思を実現し、また現在のグループ方針では拡大よりも現状維持の着実な運営を果たしている。</p>
---

調査情報

調査日	2009 年 6 月 29 日	訪問先	本社(車庫)
対応者	常務取締役		

(注) 企業情報等の内容は調査日を基準日とした内容である

## 2. 会社の概要、創業からの成長経過

先代の滋賀交通(株)の社長の意志で東京滋賀交通(株)が設立され、創立した頃に先代の社長が亡くなられたが、現在も先代の社長の意志を引き継いだ経営が行われており、今年で創業 12 年になる。

東京に会社がなければ一人前の会社ではないという先代の社長の考えにより、東京に進出し、創業開始時は、車両 10 両で営業が開始され、現在は 14 両となっている。但し、グループ全体の考えとしては、創業当時と異なり、当該企業に対しては拡大ではなく、現状維持をしていくという考え方となっている。

該社の設立時、車両及び土地費用もすべて滋賀交通(株)が費用精算し、一切、資金を借り入れすることなく、すべて現金で支払う形で設立された。現在も経理は親会社が一括管理している。

顧客形態は、営業収入の 95%が旅行者からの委託であり、残りの 5%が地元の方の団体・小旅行など直顧客からの依頼となっている。

旅行業も行っており、旅館や食事などの手配も行っているが、営業収入のほとんどはバス運行によるものであり、最近は、お客様自身で旅館を手配して、目的地までのバスの運行のみを依頼されるケースも多く、経営的に厳しい中で、環境・品質・安全を第一に掲げ、現在に至っている。

## 3. トップの考え方

該社の社長は滋賀交通(株)の社長が兼務しており、滋賀交通(株)との業務上の連携としては、東京からの顧客物件を名古屋や大阪などへ依頼したり、逆に依頼を受けるなどの連携業務が行われている。

常務取締役（東京拠点の実質的トップ）は、最初、大阪帝産観光バスに入社し、東京、神戸の勤務を経て、現在の東京滋賀交通(株)に勤務している。

設立に際しては、該社の常務取締役の顔のつながりで運行管理者や整備管理者を雇って採用し、常務取締役のこれまでの経験や知識が該社の経営、管理に活かされている。

グリーン経営認証は東京滋賀交通(株)がグループで初めて取得するなど、グループの中で積極的な経営管理が実施されており、環境への牽引策として 5S/エコドライブ運動を実践、指導している。

小型バス 2 台を廃車しようとしたが、一般の地元のお客様からの要望も高いことから運用を継続しているが、現在の車庫のスペースもあり、現在の体制から更に大きくする考えはない。

また、安全に関してリスクの高い仕事に対しては、いくらなじみのお客様からの要望であったとしてもきっぱりと断るなど、顧客・社員の安全確保を第一にする考えをしっかりと持っている。

□経営の理念等についてはホームページに記載

<http://www.ii7.jp/company/index.html>

#### 4. 組織的安全マネジメントへの取り組み

##### A) トップのコミットメントと行動

ポイント	CL 項目※
◆安全に関してリスクの多い、長距離や冬季のスキーなどの夜間運行については極力受託しないようにしている。	A 1、B 1
◆トップ自ら月に 2 回を目標にした添乗指導のほか、朝のお客様お迎え時に運転者の挨拶等をチェックし、運転者の品質、安全を高めている。	A 1、C 2、D 4

※CL 項目とは、組織的安全マネジメントチェックリストの項目である。項目の内容については「7. 組織的安全マネジメント チェックリスト自己評価結果」参照。

- ・創立当時は九州までの長距離運行を行ったことがあるが、現在は、名古屋、大阪までの運行に留めている。
- ・リスクの多い冬季のスキーなどの夜間運行は極力行わないようにしている。
- ・走行経路の状況が悪く、運行をお断りしたこともある。
- ・机に座っているよりも現場を把握する必要性から、常務取締役も自ら月に 2 回を目標に添乗指導を行っており、ブレーキ操作が強い等の運転操作などについて指摘、指導している。
- ・朝のお客様のお迎え時には、常務取締役も一緒に行って運転者の挨拶等をチェックしている。
- ・また、ドライバーからお客様にシートベルトの着用をお願いしているか、などについてもチェックしている。
- ・グリーン経営認証については、東京都や地元江戸川区などが取得事業者をグリーン購入法を考慮して優先的に契約するとの情報もあり、前々から環境面の強化から取得したいと考えていた。

##### B) マネジメントシステム

ポイント	CL 項目
◆安全体制の強化のため、夜警にも運行管理者の資格を取得させている。	B 4
◆運転者やガイドを指名して来られるお客様もおり、それが励みとなり、運転者、ガイドの資質向上効果につながっている。	B 7

##### 【人事・マネジメント関連について】

- ・創立当時は、事務員 5 名、運転者 5 名、ガイド 3 名の体制で始まった。
- ・現在は、運転者 14 名(別に嘱託 2 名)、ガイド 3 名、契約ガイド 4 名、職員 5 名、夜警 1 名の体制となっている。
- ・夜警にも運行管理者の資格を取得させている。
- ・550km の走行距離を超えたり、夜間走行の場合は運転者 2 名体制や途中で乗務させる体制としている。

- ・平均年齢は、職員が約 65 才、ガイド 45 才、運転者は 35 才～59 才で平均 47,8 才である。
- ・運転者には、無事故手当を支給している。
- ・運転者やガイドを指名して来られるお客様もおり、それが励みとなり、運転者、ガイドの資質向上効果につながっている。

【安全に関する費用について】

- ・ガイドがいれば後方誘導を行うが、ワンマン運行も行うことからバックアイ・カメラを全車に設置している。

C) 教育訓練制度

ポイント	CL 項目
◆タコグラフを解析して、運転操作に問題があった場合は、その該当箇所を拡大印刷して各ドライバーに確認させて指導している。	C 2
◆貸切り事業であることから、走行経路は都度異なり、必要な場合には前もって道路の下見を行い、気をつける箇所など運転者に指示を出している。	C 2、D 5

【採用・新人研修関連について】

- ・バス運転者の採用は、運転者による紹介やハローワークで採用しており、ハローワークでは一度に 7 名くらいの応募があった。
- ・該社は、滋賀交通（株）グループの中でも運転者の給料は平均より幾分高めの方である。
- ・大手のバス会社から入ってきて採用した運転者もいる。
- ・面接を重視しているが、採用後に性格行動が変わるケースもある。

【乗務員の研修等について】

- ・貸切り事業であることから、走行経路は都度異なり、必要な場合には前もって道路の下見を行い、気をつける箇所など運転者に指示を出している。
- ・運行の 3 日前までに乗務予定が分かるので、運転者自身もそれ迄に、自分で現地に確認したい情報を収集している。
- ・交通安全運動の時期に絡めて、年に 4 回、全員が集まる事故防止のための乗務員講習会を実施している。
- ・出席者には署名してもらい、討議内容などその他の記録も毎回記録、保管している。
- ・高速道路での速度厳守やアルコールについての留意点など、安全運転の徹底を図っている。
- ・スピード超過、アルコールについては、特に厳しく指示、管理している。
- ・以前、アルコール癖の悪い人もいて辞めてもらった運転者もおり、他業界へ転職していた人もいる。
- ・タコグラフを解析して、運転操作に問題があった場合は、その該当箇所を拡大印刷して

各ドライバーに確認させて指導している。

- ・運転者については、各個人別の管理が行われており、それによって評価を実施している。
- ・運転者によって燃料消費量も違っており、消費量を3段階に分けてボーナス時に考慮している。
- ・燃料代に換算すると年間で30万円くらい違うこともある。
- ・賞与の基準は、事故時の損害額、エコドライブの結果で評価しており、エコドライブについては昨年末から実施しており、制度については運転者に講習会などで事前説明を行った。
- ・エコドライブの目標は、燃料消費量を少なくすることであるが、スピード面等の安全の効果もある。
- ・運転者は、NASVAの適性診断を受診させている。
- ・事故報告書の内容を分析して、個人別に第一原因、第二原因を集約し指導に活かしている。

#### D) 現場管理

ポイント	CL項目
◆トップが、社員懇親会などのアルコールを飲料する場などでは、社員各人の飲み方もチェックしている。	D 8
◆5S活動として社内清掃、車庫の清掃、ゴミ処理などのグループ制の活動を実施している。	D 3、C 5

#### 【日常業務等について】

- ・点呼の際には、帰庫した運転者や他の乗務員からの経験・情報や現地に確認した道路状況、下見の結果などの情報をもとに指示書を作成し、指示している。
- ・一度、若い運転者がアルコールチェックに引っ掛かり、関連会社に振り替えたことがあった。
- ・アルコールを摂取した場合は、最低、運転まで10時間置くように指示している。
- ・また、2日運行で宿泊する場合もガイドが運転者をチェック、報告させており、運転者もチェックされていることを知っている。
- ・ヒヤリハットについては口頭での情報交換となっており、まだ指定様式は整っていない。
- ・5S/エコドライブ運動を実施している。
- ・社員懇親会などのアルコールを飲料する場などでは、社員各人の飲み方もチェックしている。

#### 【小集団活動について】

- ・5S活動として社内清掃、車庫の清掃、ゴミ処理などはグループ制の活動をしている。
- ・車両も他業者に委託をせず、自社の運転者で行っており、その分の手当てを支給している。

- ・ガイドは事務所内の清掃等も行っている。
- ・バスの補修を自分で行う者もいる。

【情報や会議、外部との連携について】

- ・滋賀交通(株)の管理のもとで事業が展開されており、運営に関する備品等についても滋賀交通(株)から支給される方法となっている。
- ・全員が集まる事故防止のための会議が年 4 回あり、その他適宜関係者同士で打合せを行っている。
- ・組合はなく、常に会社にも協力してくれる組合であれば、いつでも歓迎すると話している。

## 5. 顧客や取引先との関係

はとバスから委託されるケースもあり、運転者への注意事項など、運行に際しての注意事項等について、はとバスから指導を受けている。また、ガイドについては、はとバスからの添乗員が乗車するケースもある。

お客様には、必ず乗車時にシートベルトを締めるようお願いしており、サービス面での注意点として、道路状態を考慮して、熱いお茶ではなく冷たいお茶やジュースなどを出すなどの配慮をしている。また、お客様には敬老の方も多く、特に配慮した運転、サービスに心掛けている。

運行終了後には、顧客からアンケートを収集し、業務の改善が図られており、お客様からリピートの運行依頼があるときは、運転者やガイドについて、指名でリクエストが出るケースもあり、このことが社員の資質向上に活かされている。

環境面では、近所が住宅街でもあるため、車庫に帰ったらすぐにエンジンを停止させたり、ゴミの取扱いなどに注意するなど、付近住民の方々に対しての配慮も徹底されている。

## 6. 安全に関する実績データ

### 【交通事故発生率】

事故は、有責割合が1割でも過失があれば事故として統計されている。

創業依頼、過去に2件の人身事故があり、1件は約6年前に西伊豆で横風に煽られた自転車がバス側面に接触した事故と、創立してから3,4年後当時に痴呆症の方が中央高速道路の本線を横切り、サイドミラーと接触した事故があったが、その後は人身事故は発生していない。

平成19年11月～平成20年10月までの1年間では事故が6件あり、走行距離が約70万kmである。交通事故発生率を算出すると0.86件/10万kmである。(事故には、軽微な接触事故は含まれていない)

事故ゼロが、当然目標ではあるが、今年に入ってからガードレールへの接触など、2件の事故が発生している。

修理代の掛かるものについては、すべて「事故報告書」として運転者が記入、報告しており、飛び石などの無責のものについては「報告書」として報告させている。

労働災害は発生していない。

## 7. 組織的安全マネジメント チェックリスト自己評価結果

区分		項目		評価
A	トップのコミットメントと行動	A 1	行動見本（現場巡回）	ウ
		A 2	経費予算配分	イ
		A 3	賞罰制度	ア
B	マネジメントシステム	B 1	理念・行動指針	イ
		B 2	マネジメントサイクル	イ
		B 3	情報管理のしくみ（安全の実績・情報）	ウ
		B 4	人員配置と異動	イ
		B 5	管理者育成	ウ
		B 6	協力業者管理（関連会社等）	ウ
		B 7	お客様の評価	ウ
C	教育訓練制度	C 1	採用・新人教育	ウ
		C 2	運転スキル、作業スキル訓練	イ
		C 3	事故分析、再発防止教育	ア
		C 4	KYT、ヒヤリハット	ウ
		C 5	小集団活動（班活動）	ウ
D	現場管理	D 1	ルールの順守	ウ
		D 2	日常点検・整備	ウ
		D 3	整理、整頓、洗車、清掃	イ
		D 4	現場巡回指導（街頭指導）	ア
		D 5	点呼・朝礼	ウ
		D 6	身だしなみ、服装	イ
		D 7	挨拶、返事、報告	ウ
		D 8	時間管理、生活管理	イ
		D 9	協力意識	イ

※組織的安全マネジメントのチェックリスト（詳細）は、国土交通政策研究所のホームページから入手可能。検索エンジンで「国土交通政策研究所」と入力。“●研究会・アドバイザー会議等”のページにある“運輸企業のための組織的安全マネジメント手法に関する調査”「第3回アドバイザー会議資料（平成21年3月17日）資料3」の郵送調査票参照。



写真1  
車庫風景

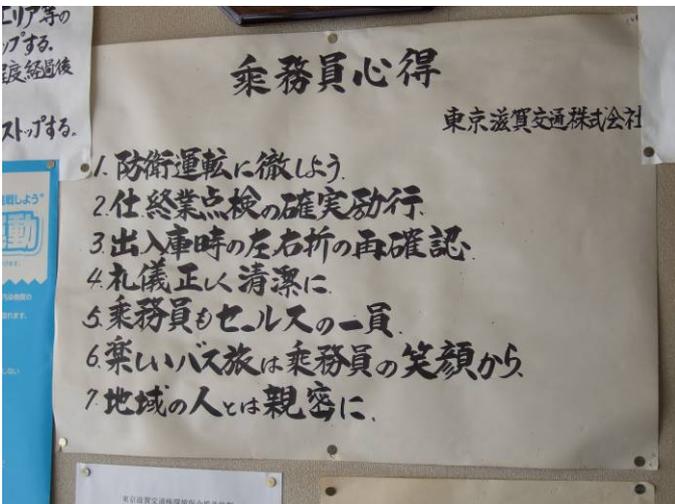


写真2  
事務所内掲示風景  
乗務員心得

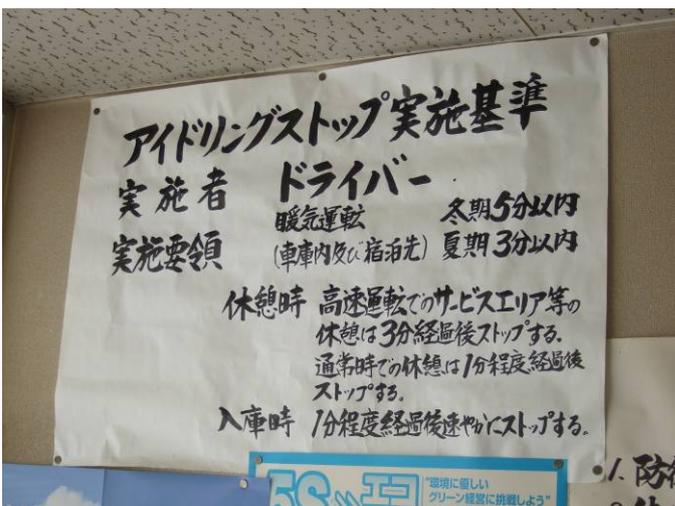


写真3  
事務所内掲示風景  
アイドリングストップ実施  
基準

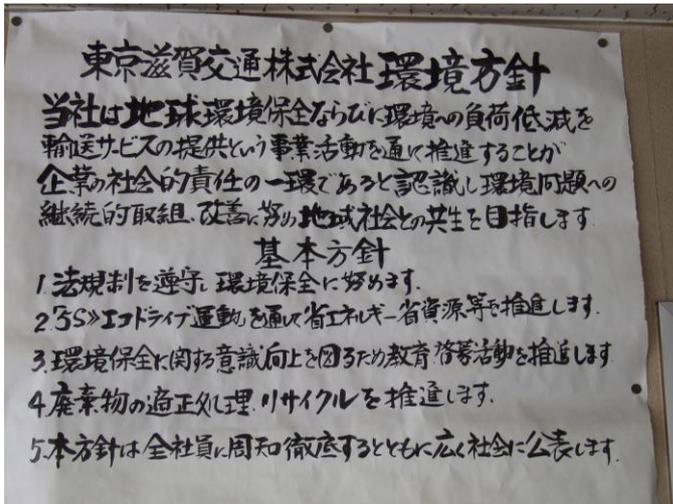


写真 4  
 事務所内掲示風景  
 環境方針



写真 5  
 事務所内掲示風景  
 燃費改善目標値

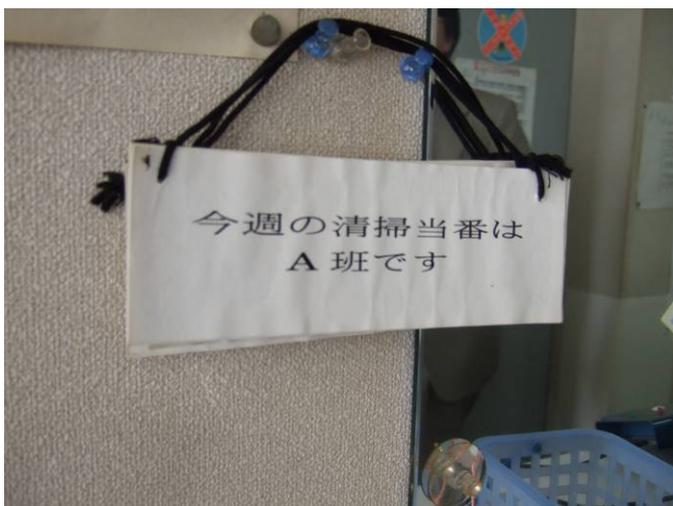


写真 6  
 小集団活動の掲示例

「5S/エコドライブ運動」チェックリスト

東京滋賀交通株式会社

平成20年10月分実績

号車																				
走行キロ	6,336	7,247	5,948	5,213	5,471	7,189	6,071	7,278	8,846	6,026	8,013	5,024	4,837	2,470						
給油量	2,644	2,440	2,320	1,914	2,112	2,712	2,077	2,098	2,447	1,371	1,881	1,229	1,015	442						
燃費	2.40	2.97	2.56	2.72	2.59	2.65	2.92	3.47	3.62	4.40	4.26	4.09	4.77	5.59						

平成19年11月～平成20年10月実績

号車																				
走行キロ	62,596	74,135	70,588	70,215	67,344	71,321	71,342	44,665	49,769	54,651	62,420	56,559	57,301	44,986						
給油量	26,080	25,891	28,132	25,970	24,548	27,792	25,241	13,586	15,628	12,808	15,431	14,118	11,920	9,458						
燃費	2.40	2.86	2.51	2.70	2.74	2.57	2.83	3.29	3.18	4.27	4.05	4.01	4.81	4.76						

燃費目標値

号車																				
燃費	2.48	2.82	2.58	2.72	2.84	2.63	2.64			4.36	4.24	4.19	4.78	4.78						

平成19年11月～平成20年10月実績

	大型車	中型車	小型車	全体
走行キロ	581,975	173,630	102,287	857,892
給油量	212,878	42,357	21,378	276,613
燃費	2.73	4.10	4.78	3.10

燃費目標値

	大型車	中型車	小型車	全体
燃費	2.66	4.26	4.86	3.12

「5S」>>エコドライブ運動」チェックリスト												東京滋賀交通																									
※翌月の10日迄に業務統轄部あて送付して下さい。												事業所：																									
平成 20 年 10 月分																																					
チェック項目/日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	総評					
①離席時・昼休みの消灯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
②エアコンの設定温度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
③不使用時、電化品の電源OFF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
④机の上の整理・整頓・清掃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
⑤事務室の整理・整頓・清掃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
⑥作業所の整理・整頓・清掃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
⑦ 事務所周辺の清掃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
⑧アイドリングストップの実行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
チェック担当者																																					
(注) *チェック項目欄には「出来ている○、そこそこ出来ている△、出来ていない×」の表示を毎日つけてください。 *エアコンの設定温度(暖房20度、冷房26度) *整理、整頓、清掃のチェック時間帯は始業時又は終業時 *アイドリングストップは点呼の時点でチェック *チェック担当者は、運動に対する認識、責任感を持たせるため出来るだけ輪番制にすると良い。*毎月末に一ヶ月間の総合評価を、各項目未欄の「総評」にて行って下さい。																																					
<省エネ・省資源>月別管理表																																					
(決算月：10月)																																					
管理項目	年間目標	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	前年比較																						
① 電気使用量(従電力=41)	使用量	1,588	2,012	2,549	2,526	2,012	1,722	1,355	1,023	1,060	1,188	1,076	1,094	19,205	-1,662																						
	前年実績	1,712	2,335	2,980	2,393	2,152	1,847	1,362	1,043	1,183	1,352	1,318	1,190	20,867																							
電気使用量(低電力=51)	使用量	216	741	1,106	1,159	569	332	243	158	813	1,700	852	173	8,062	1,318																						
	前年実績	250	480	701	534	512	285	236	265	547	1,603	1,145	186	6,744																							
② 水道使用量	使用量	176	176	151	151	151	151	158	158	167	177	174	174	980	57																						
	前年実績	147	147	156	156	115	115	173	173	158	158	174	174	923																							
③ コピー用紙使用量	使用量	1,800	800	1,500	1,600	1,800	1,852	1,809	1,831	1,960	1,804	1,802	1,941	20,499	-1,591																						
	前年実績	2,000	1,000	2,000	2,200	1,834	2,156	2,633	2,067	1,800	1,500	1,400	1,500	22,090																							
④ 燃料(ガソリン)	給油量	46	102	48	137	48	96	93	96	101	45	62	74	948	-44																						
	前年実績	90	102	49	96	90	46	98	90	49	98	95	89	992																							
燃料(軽油)	給油量	26,454	12,394	13,250	21,518	22,728	23,329	24,311	23,296	25,112	32,995	24,403	26,702	276,492	9,869																						
	前年実績	26,401	14,318	12,627	18,646	19,736	23,152	23,157	22,408	21,400	32,582	26,708	25,488	266,623																							
燃料(LPGガス) <車庫用>	給油量													0	0																						
	前年実績													0	0																						
燃料(灯油) <風呂暖房用>	給油量													0	0																						
	前年実績													0	0																						
燃料(LPGガス) <風呂暖房用>	給油量													0	0																						
	前年実績													0	0																						

(注) \*各項目の数値について、電気使用量は「電気使用量のお知らせ」、水道使用量は「水道使用量のお知らせ」より、  
 <当月未数値=前月未数値+月中使用量>を記入。  
 \*燃料は、用途別・種類別に月中給油量を記入、走行キロは、燃料種類別に月中総走行キロを記入して下さい。

帳票類：「5S/エコドライブ運動」チェックリスト(3)

「5S/エコドライブ運動」チェックリスト

東京滋賀交通株式会社

平成  年  月  日 号車  氏名

チェック項目/日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
①アイドリングストップ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
②急進、急減速、急ブレーキを避ける		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③定速走行、経済速度の励行		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
④タイヤの空気圧の適正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑤エアコンの設定温度を標準にする		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑥不要な通風、乾燥は避ける		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑦廃棄物の分別		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑧整理整頓清掃		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(注) チェック項目欄には「出来ている○、そこそこ出来ている△、出来ていない×」の表示を毎日付ける。

エアコンの設定温度（暖房20度、冷房26度） 整理、整頓、清掃のチェックは始業時及び終業時

アイドリングストップは車庫内、サービスエリア及び駐車場等で実施。

毎日、改善に努めましょう。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
走行キロ	337	263	89	257				103	122	225	290	448	582	786		249	250	250	250		172	270
給油量				250.7	100					166	107	151	239				171					260

23	24	25	26	27	28	29	30	31	
走行キロ	428	508	109	465	502	219		363	387
給油量	254.88	256.01	100.00	219.7	219.7	219.7		230	230

月初指示キロ	7920	41	和
月終指示キロ	7992	88	和
月間走行キロ	7247	和	
月初給油量	269.7	リッター	
燃費	2.970	和	
リッター			キロ/リッター

以上